

## 平成22年度 事業報告

### 1. 総会・理事会

#### 1. 1 第22回通常総会

平成22年5月27日 九段会館に於いて開催し、次の議案を審議し承認された。

- (1) 第1号議案 平成21年度事業報告の件
- (2) 第2号議案 平成21年度決算報告の件
- (3) 第3号議案 役員選任の件
- (4) 第4号議案 平成22年度事業計画(案)の件
- (5) 第5号議案 平成22年度予算(案)の件
- (6) 第6号議案 その他

#### 1. 2 理事会

平成22年5月21日 第22回通常総会提出議案を審議決定した。  
運営委員会委員を選任した。  
平成22年度各委員会の設置等を審議した。

平成22年11月25日 上半期の事業報告及び会計報告について了承された。  
平成23年度の暫定予算について了承された。

#### 1. 3 その他

会員数は平成23年3月末日現在、正会員24社、賛助会員3社である。

## 2. 委員会

平成22年度はポンプ施設をとりまく諸課題への対応、ポンプ施設技術の普及、資格制度の活用推進を重点として、事業者及び施工者等の双方にまたがる課題への対応策の検討・提案、研究発表会・講習会、技術図書の編集・出版、海外との技術交流等について委員会等により事業を推進した。

各委員会の活動は、以下のとおりである。

### 運営委員会

(1) 理事会及び総会に提出する案件の企画・立案

(2) その他協会運営に関する諸課題の審議

協会の公益目的事業の実施方針、テーマを審議した。

東日本大震災に対する対応体制を整備した。

### 運営幹事会

(1) 運営委員会に係る審議事項の企画・立案

(2) 各委員会に関連、共通する業務の企画・調整

(3) その他、協会の事業活動に係る審議

協会20周年事業としての「河川ポンプ施設総覧2010」を編集委員会を設置して編集し、会員、国の機関及び地方自治体、大学等へ配布した。

## 2. 1 広報研修委員会

(1) 機関誌「ぽんぷ」の発行

「ぽんぷ」44号、45号を各2,000部発行し、国土交通省をはじめ地方自治体、関係法人、会員等広く関係者に配布し、協会活動の広報に努めた。

(2) 技術図書の編集

ポンプ施設に関する技術図書として、「ポンプ施設の建設と管理」を8月に発行した。

(3) 国・地方公共団体等の講習会、研修への協力

地方整備局等が実施する技術研修への講師5名を派遣した。

(4) ポンプ施設管理技術講習会の実施

ポンプ施設管理技術向上のための講習会を、9月に全国5会場において「ポンプ

施設の建設と管理」をテキストとして実施した。

受講者数 138名

(5) 技術講話会の実施

第15回研究発表会にあわせて、外部講師による講演等を実施した。

演題1：「河川の維持管理の話題」

演題2：「河川ポンプ設備の信頼性と経済性を考慮したマネジメント手法」

(6) 研究発表会、技術研修会の実施

1) 研究発表会

第15回研究発表会を平成22年11月24日、都内で実施した。

会員及び協会の委員会から新技術3テーマについて発表があった。

なお、当研究会は継続学習制度の学習プログラムとして認定・登録されている。

2) 技術研修会

平成22年度技術研修会を平成22年10月22日、横浜市（東京電力横浜火力発電所）において実施した。

2. 2 技術開発委員会

(1) 最近の技術課題の検討

最近の技術動向を踏まえて、ポンプ施設に関する設計基準類の検討課題の整理を行った。

(2) ポンプ施設に関する検討課題の抽出と解決に向けての検討

ポンプ技術検討会を3回開催し、ポンプ設備修繕について持続的な体制確保の課題、対応方策の検討を行った。

(3) 上記課題に関する意見交換の実施

ポンプ技術検討会での検討結果により、行政側を交えて意見交換を行った。

2. 3 規格調査委員会

(1) ポンプ施設の技術解説について、最近の技術的課題を踏まえた改訂内容検討

維持管理に関する技術基準類を反映して、「ポンプ施設の建設と管理」の改訂版を編集した。

(2) 国際的な研究会議等における成果発表等の技術交流について、計画及び実施

オランダ国の運輸公共事業水利管理省他3機関と排水機場の維持管理の入札契約方式についての調査・意見交換及びポンプ施設における技術動向、運用維持管理の技術研究発表を行った。

期間：平成22年6月12日～6月19日（調査・意見交換、発表会）

なお、実施結果の概要を機関誌「ぼんぷ」45号に掲載した。

## 2. 4 維持管理委員会

(1) 設備故障事例の設計・管理へのフィードバックによる信頼性向上手法の検討  
過去の故障事例を踏まえて「ポンプ操作技術向上講習会テキスト」で扱う不具合事例を整理し、同テキストの改訂原稿を作成した。

(2) 排水機場の総合診断要領の検討  
排水機場の概略診断における調査要領の検討・修正を行った。

(3) 排水機場操作員の操作技術向上策の検討  
平成22年度より、新たに地方公共団体も対象にして操作技術検討会を実施した。検討会では、最近の維持管理技術についての講座及び操作・管理の実務上の問題点等についての排水機場操作員、管理者との意見交換等を行った。

### 武雄河川事務所管内

実施日・場所：平成22年5月13日 佐賀県小城市牛津町

参加者：武雄河川事務所、佐賀県、多久市、小城市、操作員（国、県、市）

内容：①講座

排水機場とアセットマネジメントについて

揚排水機場設備点検・整備指針（案）同解説改訂の背景

②実地（牛津江排水機場）

ガスタービン、ディーゼルエンジンの操作

### 愛知県管内

実施日・場所：平成22年11月9日 愛知県北名古屋市

参加者：愛知県、関係12市町、公社、操作員（県、市ほか）

内容：①講座

河川ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）の概要

②実地（鴨田排水機場）

ポンプ設備のトラブル対応

## 2. 5 資格制度委員会

### (1) 平成22年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施

資格試験実施に関する検討を行った。

試験は平成22年10月31日(日)に札幌、東京、名古屋、大阪、高松、福岡の全国6会場において実施した。

受験者数 288名(1級140名、2級148名)

合格者数 170名(1級74名、2級96名)

### (2) 平成22年度ポンプ施設管理技術者講習の実施

平成22年5月に札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の全国9カ所で講習を実施し講習修了者をポンプ施設管理技術者として登録した。

講習に用いたテキスト「ポンプ施設管理技術者講習テキスト2010」は、編集委員会において編集した。

受講者数 837名

なお、本講習は継続学習制度の学習プログラムとしての認定・登録を受けている。

### (3) ポンプ施設管理技術者に関する調査、広報

ポンプ施設管理技術者の活用事例を調査し、代表的な自治体を訪問してポンプ施設管理技術者資格制度の主旨、活用効果や総合評価方式における技術者評価事例等の説明を行い、資格者の活用を広報した。

## 3. 資格試験関係委員会

### 3. 1 資格審査委員会

以下について審議した。

#### (1) 資格試験(更新講習を含む)の実実施計画

#### (2) 受験資格、試験問題及び採点基準、試験の科目及び基準、出題基準、合格基準、試験実施に係わる細則、試験監督要領等

### 3. 2 資格試験委員会

資格試験委員により、試験問題原案の作成、監修、採点を実施した。

## 委員会等開催状況

各委員会関係の会議開催状況は、下記のとおりである。

| 委 員 会 名       | 回 数 |
|---------------|-----|
| 運 営 委 員 会     | 7   |
| 広 報 研 修 委 員 会 | 4   |
| 技 術 開 発 委 員 会 | 7   |
| 規 格 調 査 委 員 会 | 2   |
| 維 持 管 理 委 員 会 | 9   |
| 資 格 制 度 委 員 会 | 7   |
| 資 格 審 査 委 員 会 | 2   |
| 資 格 試 験 委 員 会 | 3   |
| 計             | 41  |